

- 問1 明治初期の東京において、人口が一時的に100万人から60万人規模まで減少した現象に関わり、当時の社会制度の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。 | 2. 武士が特権を失ったため、新たな職業を求めて北海道の開拓に従事する土族授産が東京の全人口の半数に適用された。 | 3. 江戸から東京への改称に伴い、旧幕府に関係していた全ての居住者が都市部から追放される法令が出された。 | 4. 版籍奉還によって土地と人民が天皇に返還された際、東京の住民はすべて強制的に出身地へ帰された。 |
|---|--|--|---|
-
- 問2 1869年に明治政府が実施した、全国の藩主が所有していた土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させた政策を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 殖産興業 | 2. 地租改正 | 3. 版籍奉還 | 4. 廃藩置県 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問3 明治政府が1873年に発布した、近代的な軍隊をつくるための法令について説明します。この法令は「国民皆兵」を原則としており、満20歳になった男子に対して、それまでの身分に関わらず兵役の義務を課すものでした。この法令の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| 1. 国家総動員法 | 2. 廃刀令 | 3. 治安維持法 | 4. 徴兵令 |
|-----------|--------|----------|--------|
-
- 問4 1871年に岩倉具視を特命全権大使として欧米に派遣された使節団が、外交上の最優先事項として掲げていた目的は何ですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|-----------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 周辺諸国との新たな軍事同盟の締結 | 2. 外国船を打ち払うための鎖国体制の復活 | 3. 幕末に結ばれた不平等条約の改正 | 4. 植民地獲得に向けた領土の割譲要求 |
|---------------------|-----------------------|--------------------|---------------------|
-
- 問5 1870年代の日本外交において、朝鮮との間に結ばれた日朝修好条規の内容や背景を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 西郷隆盛らによる征韓論が政府内で正式に採用された結果、朝鮮の主権を完全に否定し、日本の領土として併合することを定めた。 | 2. 欧米諸国との不平等条約改正を有利に進めるため、日本はあえて自ら不利な条件を受け入れ、朝鮮との対等な関係を強調した。 | 3. 清の仲介によって交渉が行われ、東アジアの平和を維持するために、日本と朝鮮が互いの関税自主権を尊重することに合意した。 | 4. 軍事的圧力を背景に交渉を進め、朝鮮側に釜山などの開港を認めさせるとともに、日本側の領事裁判権を承認させた。 |
|--|--|---|--|
-
- 問6 明治政府が欧米列強に対抗し、日本の自立と近代化を図るために掲げた、経済を発展させて国を豊かにし、それによって軍隊の強化を目指した基本政策を何と呼ぶか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 富国強兵 | 3. 大政奉還 | 4. 文明開化 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問7 明治維新から近代国家の体制が整うまでの政治的推移について、出来事が古い順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 五箇条の御誓文の公布 → 民撰議院設立建白書の提出 → 版籍奉還の実施 → 大日本帝国憲法の発布 | 2. 版籍奉還の実施 → 五箇条の御誓文の公布 → 内閣制度の創設 → 民撰議院設立建白書の提出 | 3. 五箇条の御誓文の公布 → 版籍奉還の実施 → 民撰議院設立建白書の提出 → 内閣制度の創設 | 4. 民撰議院設立建白書の提出 → 版籍奉還の実施 → 五箇条の御誓文の公布 → 内閣制度の創設 |
|---|--|--|--|
-
- 問8 19世紀後半、プロイセンの首相ビスマルクが主導して達成した国家統一において、彼が示した政治方針やその背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 三権分立を徹底し、国民による議会政治が主権に優先する立憲君主制を早期に確立した | 2. 言論や多数決ではなく、軍事力と犠牲によって問題を解決すべきだとする鉄血政策を推進した | 3. イギリスとの軍事同盟を背景に、産業革命による経済力のみで周辺諸国を統合した | 4. ナポレオンの支配から脱却するため、共和制を重んじる市民革命を主導した |
|--|---|--|---------------------------------------|
-
- 問9 明治政府が1872年に「学制」を公布し、近代的な教育制度を導入した主な目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 文明開化や富国強兵を推進するため、国家の近代化を支える有能な人材を育成すること | 2. キリスト教の布教を制限するために、仏教を基盤とした教育体制を再構築すること | 3. 藩校での教育を全国に広めることで、武士階級の伝統的な教養を維持すること | 4. 農村の労働力を確保するために、読み書きよりも農業技術の習得を優先させること |
|--|--|--|--|
-
- 問10 1871年に行われた廃藩置県により、現在の和歌山県域では和歌山県、田辺県、新宮県の三つの県が置かれたのち、和歌山県として統合されました。明治政府がこのように地方の権限を中央に集中させ、国家の統一と統治能力の強化を目指した政治体制を何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------------|
| 1. 地方分権 | 2. 中央集権 | 3. 藩閥政治 | 4. 大正デモクラシー |
|---------|---------|---------|-------------|
-
- 問11 明治政府が、生活様式の西洋化を伴う「文明開化」を推し進めた理由の一つとして、当時の外交上の目的をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 西洋の宗教であるキリスト教を国教として採用することで、欧米諸国と全く同じ価値観を持つ国をつくるため。 | 2. 江戸時代以来の伝統文化を完全に否定することで、旧幕府勢力の支持を失わせ、新政府の権威を絶対的なものにするため。 | 3. 牛肉の消費を促進することで畜産業を盛んにし、それによって得られる税収をすべて軍備増強の資金に充てるため。 | 4. 西洋の文化を取り入れることで、日本が近代的な文明国であることを諸外国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 |
|---|--|---|---|
-
- 問12 岩倉使節団が派遣された1871年の翌年には、欧米の技術や機械を導入した富岡製糸場が建設されました。このように、使節団の視察結果などを活かし、政府が欧米の技術を導入して国内の産業を育成しようとした一連の政策を何と呼ぶか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 版籍奉還 | 3. 殖産興業 | 4. 地租改正 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問13 1871年に欧米へ派遣された岩倉使節団の目的の一つとして、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉がありました。この使節団を率いた特命全権大使と、同行した女子留学生のうち最年少で、後に女子英学塾（現在の津田塾大学）を創立して女子教育に貢献した人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. 岩倉具視 と 樋口一葉 | 2. 福沢諭吉 と 津田梅子 | 3. 岩倉具視 と 津田梅子 | 4. 福沢諭吉 と 樋口一葉 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|